

令和6年度 看護部教育計画（第2土曜日）13:00～15:30

教育委員会活動方針

- ①看護専門職として、なりたい自分に常に向き合える機会を持つことで看護の質の向上をはかる
- ②感性と技術と知識を統合した看護提供が出来る能力を養う
- ③学習意欲の向上に向けた、教育計画の立案（ラダーの活用）
- ④看護部内の学習機会を有効に活用しながら専門職として学びたい意欲を支援する

【対象者：全看護職員】

	全体研修（60分）	ねらい	看護師教育（60分）	ねらい
6月	令和6年度 部長方針	看護部のこれからの方向性が考えられる	看護サービスとは （看護師のみ）	看護の原点について考え、今年1年自分の看護実践の礎を持つことができる。
7月	ストレスマネジメント	ストレスを正しく理解しうまく対処することができる	看護の魅力～看護を担うすべての人へのメッセージ～ （看護師のみ）	看護の魅力とは？川島みどり先生からのメッセージを聞き、自分自身の看護について振り返り今後につけていく。
9月	タスクシフト・シェア	看護部のそれぞれの職種が専門性を生かした、タスクシフト・シェアを行っていくための、心理的安全性について考える。	看護を語ろう パート②（看護師のみ）	他者が実践した看護ケアを「語り」を通して聴く機会をもつことで、自ら学び、成長するための「気づき」を養う。
10月	食支援	食べる口づくりから、ポジショニング、食形態等に対するアセスメント力を高め、実際の支援に繋げることができる。	自部署で大切にしている看護ケア（実践報告・中間）	各部署で必要な看護ケアについての取り組みの実践報告（中間発表）
12月	【医療安全】 防ごう転倒転落と確認不足	・転倒転落のアセスメントおよび予防対策について学ぶ ・確認行動の重要性を学ぶ	【ラダーⅠ～Ⅱ】 リフレクション 【ラダーⅢ以上】 リーダーシップとは	【ラダー別研修】 各ラダーで必要な役割について学びを深め、自身のスキルアップに繋げる
1月	ホスピタリティマネジメントについて考える	個々のホスピタリティの感性を高めることで、患者・家族はもとよりスタッフ間でも喜びを感じ、誇りや働きがいに繋げることができる。	急変時対応 （看護師のみ）	急変時のフィジカルアセスメント力を高め、迅速に対応することができる。
2月	終末期ケア～当院における高齢者ケアに焦点をあてて	終末期ケアの概念を学び、各部署での終末期患者との関わり方を考えることができる	家族看護（各部署事例発表）	家族介入での成功事例を通して、自部署での家族看護とは何かを考えることができる。
3月	認知症ケア（身体拘束）	やむを得ず行っている身体拘束を、安全面を配慮しつつ、解除し得る方法を考えていることができる	自部署で大切にしている看護ケア（実践報告・最終）	各部署で必要な看護ケアについての取り組みの実践報告（最終発表）